

研修目標		研修方略						評価					
一般目標(GIO): 口腔病理専門医として適切な医療に貢献するために、診断病理学に必要な知識、技能、態度を身につける。													
	方法	研修内容				媒体	指導者・協力者	時期	方法	測定者	専門医試験との関係		
		Basic	Advance-1	Advance-2	数値目標					受験資格	筆記試験	実地試験	
行動目標(SBO)													
I. 必要な知識													
1) 病理業務に関わる知識													
1. 病理業務に関連する法および制度を説明できる。	講義 自習	講義 1～2時間		(研修医を指導)		資料(プリント)	病理専門医、 法律家	Basic研修 前半	客観試験	指導医・指 導責任者	研修手帳提出	○	
2. 病理業務に関するリスクマネジメント(医療廃棄物問題を含む)を説明できる。	講義 実習	講義 1～2時間		実習		資料(プリント)	病理専門医	Basic研修 前半	客観試験	指導医・指 導責任者	研修手帳提出	○	
3. 病理業務の資料を管理し、保存できる。	講義 実習	講義 1～2時間		実習		資料(プリント)	病理専門医	Basic研修 前半	客観試験	指導医・指 導責任者	研修手帳提出	○	
4. 病理業務でえられた人体材料を研究に用いる際の手続きを説明できる。	講義 自習	講義 1～2時間		実習Ⅲ-8で実習		資料(プリント)	病理専門医	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出	○	
2) 病理診断に必要な知識													
1. 基本的な病理組織標本の作製過程を説明できる。	講義 実習	講義 1～2時間		Ⅱの中で実習		(ビデオ教材)	病理専門医、 コメディカル	Basic研修 前半	客観試験 観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出	○	
2. 免疫組織化学(免疫)を含む特殊染色の原理を説明し、結果を評価できる。	講義 実習	講義 1～2時間		Ⅱの中で実習			病理専門医、 コメディカル	Basic研修 前半	客観試験 観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出	○	
3. 電子顕微鏡(電顕)標本の作製過程を説明し、結果を評価できる。	講義 実習	講義 1～2時間		講義、実習適時			病理専門医、 コメディカル	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出	○	
4. 分子病理学的検索の原理を説明し、結果を評価できる。	講義 実習	講義 1～2時間		講義、実習適時			病理専門医、 コメディカル	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出(講 習会出席証明)	○	
5. 病理診断に必要な臨床的事項を的確に判断し、病理診断との関連性を説明できる。	自習 実習			Ⅱの中で実習			病理専門医	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	臨床研修修了証明		
6. 病理診断に対してコンサルテーションの必要性を判断できる。	自習			Ⅱの中で実習			病理専門医	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出		
II. 必要な技能													
	(細目設定)		Skill Level I	Skill Level II	Skill Level III								
1. 病理解剖を執刀できる。			介助	実施・介助	実施・介助・指導			研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出		
2. 臨床事項と考察を含めた病理解剖報告書を作成できる。	講義 実習			報告書作成	15例以上	書籍他	病理専門医+ 後期研修医	研修中	報告書	指導医・指 導責任者	剖検報告書提出 (講習会出席証明)	○	
3. 口腔を含む偏らない臓器・組織から得られた生検、手術材料を診断し、報告書を作成できる。	講義 実習	例) 口腔生検・手術検 体、消化管手術検体	例) 口腔+一般外科病理検体 (消化管、婦人科、肺、腎臓、 皮膚、他)	例) 一般+骨軟部、脳、骨髄、 リンパ節、他	1500件以上	標本、顕微鏡、 書籍他	病理専門医+ 後期研修医	研修中	報告書 観察記録	指導医・指 導責任者	経験症例数申告 (講習会出席証明)	○	
4. 口腔を含む細胞診材料を診断し、報告書を作成できる。	講義 実習	概論	例) 口腔、婦人科・呼吸器	例) 泌尿器、甲状腺、体液、 リンパ節、乳腺、他	50件以上(スクリーニ ング、陰性例を含む)	標本、顕微鏡、 書籍他	病理専門医+ 後期研修医	研修中	報告書 観察記録	指導医・指 導責任者	経験症例数申告 (講習会出席証明)	○	
5. 迅速病理診断において良悪性の判定をし、適切な報告ができる。	実習	見学	見学・補助・実施	補助・実施・指導	10件以上	標本、顕微鏡、 書籍他	病理専門医+ 後期研修医	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	診断報告書提出		
6. 基本的な病理組織標本の作製(切出しから標本作製まで)を実施できる。	実習	標本作成(固定から染色 まで)、手術検体切出し	手術材料切出し 程度	週1回 手術材料切出し週1回程度+ 切出し指導	剖検例1体の標本作 成	検体	病理専門医+ 後期研修医+ コメディカル	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出	○	
7. 病理業務におけるバイオハザード対策を実行できる。	講義 実習	講義 1～2時間		Ⅱ.1-4の実習中に含まれる		資料(プリント)	病理専門医+ 後期研修医+ コメディカル	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出	○	
8. CPCや臨床とのカンファレンスにおいて、病理所見を的確に説明できる。	実習	見学・実施		適時実施(カンファレンス週1回以上)	CPC病理側担当1例 以上		病理専門医+ 後期研修医+ 臨床医	研修中	観察記録 レポート	指導医・指 導責任者	CPCレポート提出		
III. 求められる態度													
1. 病理診断、剖検およびCPCなどに際して患者や遺族に対する配慮ができる。	実習			Ⅱの実習中に含まれる			病理専門医、 臨床医	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出		
2. 病理業務において、臨床医と適切に対応できる。	実習			Ⅱの実習中に含まれる			病理専門医、 臨床医	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出		
3. 学生、臨床研修医および病理専門医初期研修医に対する病理の指導ができる。	実習		補助	指導	50時間以上、研修医 CPC担当1例以上		病理専門医、 研修医	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出		
4. 病理業務に関してコメディカルと協調できる。	実習			Ⅱの実習中に含まれる			病理専門医、 コメディカル	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出		
5. 病理診断の精度管理について積極的に関与する。	講義 実習		講義1～2時間	実習		資料(プリント)	病理専門医	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	研修手帳提出		
6. 学会、研修会、セミナーに積極的に参加する。	実習			年1回以上	3回以上		病理専門医	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	講習会クレジット		
7. 病理業務の社会的貢献に積極的に関与する。	実習			適時	1回以上		病理専門医	研修中	観察記録	指導医・指 導責任者	講習会クレジット		
8. 人体病理学に関する研究を行い、結果を報告できる。	自習			自習・研究	学会報告または原著 論文3編以上		病理専門医	研修中	レポート (論文)	指導医・指 導責任者	抄録コミニケーション または原 著論文別刷3編以上 提出		

① 指導者・協力者欄の病理専門医は、口腔病理専門医および病理専門医の両者を含む。